

知っていますか？ カルシウムの“吸収率”的こと



吸収率に注目して、
カルシウム摂取を効率アップ

私たちの健康に欠かせないカルシウム。牛乳乳製品や小魚、野菜など身近な食品に多く含まれることはよく知られています。では、カルシウムの吸収率の高い食品はご存知でしょうか。食品の栄養素は、食べた量がそのまま体内に取り込まれるのではなく、一部は吸収され、残りは排出されます。この吸収率は、食品によって差があるのです。食品ごとの吸収率を知って、毎日しっかりカルシウムを摂りたいですね。

【食品によって異なるカルシウム吸収率】

40%ものカルシウムを吸収できる、牛乳の栄養バランス

牛乳はカルシウムが豊富なだけでなく、吸収率がもっとも高い食品のひとつです。カップ1杯(200ml中)に含まれるカルシウムは227mgで、吸収率は40%。小魚や野菜に比べて、より多くのカルシウムを効率よく摂ることができます。これは、牛乳中のカルシウムとリンのバランスが、カルシウムの吸収に理想的であるほか、乳糖やカゼインホスホペプチド(CPP※)の作用と考えられています。また、日光を浴びるとつくられるビタミンDも、カルシウム吸収をサポート。牛乳を飲んで、外で体を動かすと、吸収効率がさらにアップします。

※CPPは牛乳のたんぱく質を消化する過程で生成されます



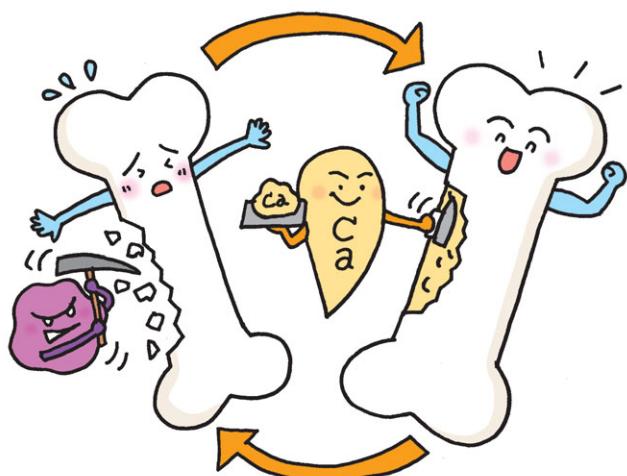
ワカサギ・イワシ コマツナ・モロヘイヤ・オカヒジキ

出典:上西一弘ほか、日本栄養・食糧学会誌vol51、259-299(1998年)

牛乳のリン・乳糖・たんぱく質(CPP)が効率的なカルシウム吸収をサポート



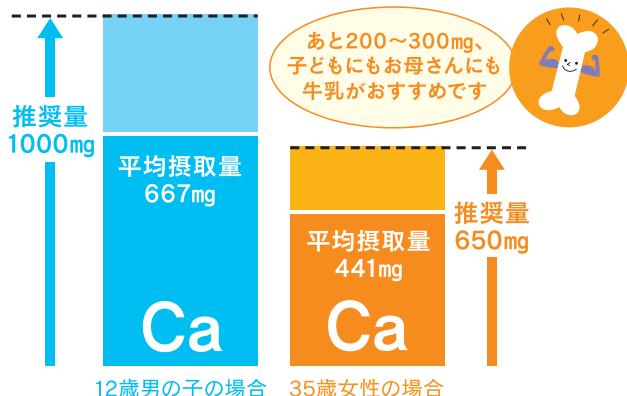
生涯にわたって生まれ変わる骨のために
カルシウムを摂り続けることが大切



カルシウムの豊富な牛乳で、子どもの元気な成長を応援

体内に吸収されたカルシウムは、筋肉の収縮、神経伝達、骨や歯の形成など、体づくりに利用されます。骨も皮膚と同じように代謝しており、全身の骨は生涯、生まれ変わり続けます。成長期には骨を大きく強くすることにも使われるため、伸び盛りの子どもは、大人以上にカルシウムが必要なのです。カルシウムを手軽に効率よく摂れる牛乳は、子どもの成長を応援してくれる心強い味方です。

【親子で一緒にしっかり摂りたいカルシウム】



出典:日本人の食事摂取基準(2015年版)、平成25年国民健康・栄養調査より



一般社団法人 Jミルク
Japan Dairy Association (J-milk)

詳しい情報は [Jミルク カルシウム](#)

検索

監修:女子栄養大学 栄養生理学研究室

上西 一弘 教授